



地域における福祉・介護専門職のリカレント教育事業



DATA

- **主な連携先・メンバー**
堺ガーベラの会／医療法人光明池梅田クリニック院長 梅田信一郎氏／医療法人正歯会理事長 竹村味紗氏／ベルファミリア援護部援護長 谷口淳子氏／前川泌尿器科院長・大阪府歯科医師会理事 前川たかし氏／ハートピア泉北施設長 佐野将哉氏／陵東館介護福祉士 阪田篤美氏
- **活動地域**
関西大学堺キャンパス
- **活動期間**
2015年度～継続中
- **活動資金**
堺市と関西大学との地域連携事業

活動の目的

- 1 本学が提供できる社会福祉学関連の学問的知識やスキルを、現場で働く専門職のスキルアップのために提供すること
- 2 受講者が実践の場で活用できる方法や知識を習得するとともに、講師となる教員も本事業での経験を研究と教育に反映させること



連携にいたる経緯

堺市内において医療、介護、福祉、その他の組織でさまざまな形で福祉にかかわる団体や個人が顔の見える関係を築き、フラットな関係で福祉の向上を目指す「堺ガーベラの会」との連携のなかで、関西大学人間健康学部として福祉・介護現場に従事又は関連する方々に学ぶ機会を設けることを目的として開催した。

活動内容

【2017年度講演会・シンポジウム】

開催日時：2017年11月16日(木) 14：40～16：10

テーマ：さよならのまえに一終末期について考えてみませんか

内容：講演「家で死ぬということ」 梅田 信一郎 氏(医療法人光明池梅田クリニック院長)

講演「さよならのまえに」 竹村 味紗氏(医療法人正歯会理事長)

講演「特別養護老人ホームでの看取り」 谷口 淳子氏(ベルファミリア援護部援護長)

受講者：堺市民、福祉・介護従事者、学生 計179名

※2018・2019年度は事情により中止。

活動の成果

- 1 ケアを受ける当事者とともに家族への支援の必要性について理解することができた
- 2 自身のもつ専門性とは異なる職種の方との出会いや気づきがあり、他職種連携の必要性を理解できた
- 3 本学の実習教育にコミットいただく機会にもなり、本学の専門職養成にも良い効果を与えている

今後の課題・目標

- 1 今後の介護・福祉専門職を取り巻く多くの課題に関するトピックの選定
- 2 講演会型だけでなく、スキルアップを目的としたワークショップ形式の実施についても検討

教員紹介



■ 人間健康学部 教授

岡田 忠克
Tadakatsu Okada

1970年大阪府堺市生まれ。大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程単位取得後退学。現在、関西大学人間健康学部教授。博士(学術)。専門は社会福祉政策で、主著は、『社会福祉の理論と政策』(中央法規出版)、『よくわかる社会福祉』(ミネルヴァ書房)、『転換期における福祉国家』(関西大学出版部)、ほか多数。